

この度は弊社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
 据付工事を行う前に必ずお読みいただき、十分ご理解のうえ正しく施工を行って
 くださるようお願い致します。

据付の前に

- 製品がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 本製品は防振台と高置架台用となります。

用意するもの

- ソケットレンチ
- スパナ
 ※サイズについては仕様書を参照ください
- 止水部材（シリコンコーキングまたは水中ボンド）

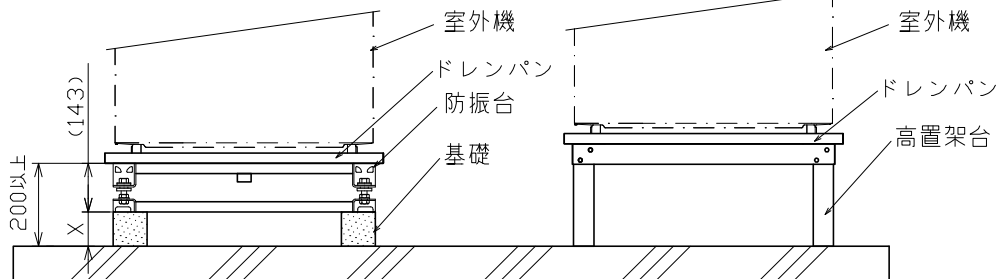
ドレンパンの設置に際して

- ドレンパンを屋内又はドレンパンからの結露水の滴下が問題になる場所に
 設置する場合、低温ドレン水によりドレンパンが結露する可能性があるので、
 ドレンパンの底面に断熱材を貼り合わせて結露水の滴下を防いでください。
 又、次のような場合にはドレンパン外に水が飛散する可能性があります。
 - ・ドレンパンに水が溜まり、水はねが起こる場合。
 - ・強風などでドレン水が吹き上げられる場合。
- ドレンパン設置面の地上高さは作業性を考慮して200mm以上としてください。
 防振台のみではドレン配管の施工ができなくなる可能性があります。[図1]
- 周囲温度が0℃以下になる場所では使用しないでください。使用する場合は
 ドレンパンに凍結防止ヒーターなどを取り付けてください。

[図1]

[防振台の場合]

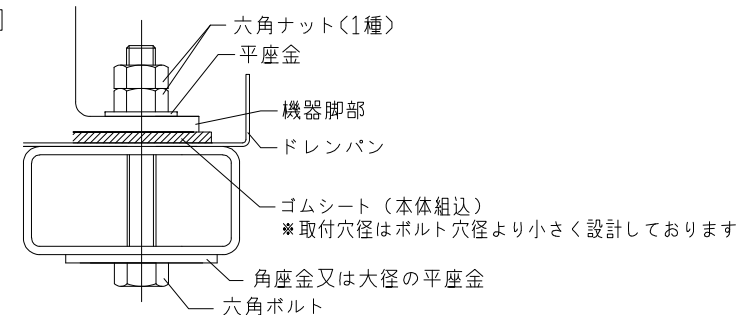
[高置架台の場合]



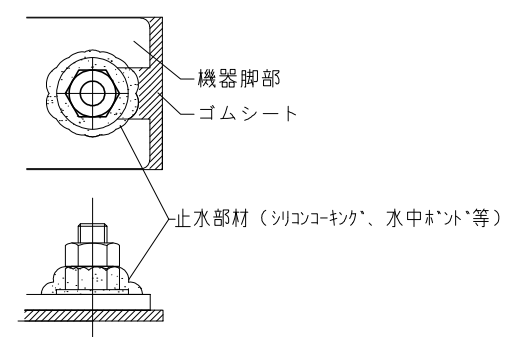
概略作業手順

- 防振台又は高置架台を付属の取扱説明書に従い、基礎に固定してください。
- ドレンパンを架台上へ設置してください。
- 室外機を設置した後に、防振台または高置架台に付属のボルト・ナット・
 座金にて強固に固定してください。[図2]
 ゴムシートは納入時にドレンパン本体に組み込まれております。
- 機器取付ボルト周辺は必ず止水処理等を行うようご配慮ください。[図3]

[図2]



[図3]



ドレン配管工事

- ドレンパンのドレンソケットはPT 1''メネジ（SUS製）となっています。
 配管は1''オネジ加工で接続してください。ホース等を使用する場合は、
 ホースニップル1''等にて接続してください。いずれもねじ部はシールテ
 ープ等で確実にシールを施してください。[図4]
- ドレン配管施工時は、ドレン配管が必ず
 1/100以上の下り勾配となるように
 施工してください。[図4]

[図4]

